

令和4年 太田市教育委員会2月定例会会議録

開会年月日	令和4年2月9日(水曜日) 午後2時		
閉会年月日	令和4年2月9日(水曜日) 午後2時40分		
開会場所	尾島庁舎 3階 教育委員会室		
議 案 (件 名)		結 果	
出席者	恩 田 由 之 (教育長) 池 田 光 男 (教育長職務代理者) 佐 藤 真 太 郎 (委員) 野 村 路 子 (委員) 倉 嶋 慶 秀 (委員)	欠席委員	
	教育部長、管理担当副部長、指導担当副部長、 教育総務課長、学校施設管理課長、学校施設 管理課主幹、文化財課長、青少年課長、学校 教育課長、市立太田高校事務長、教育総務課 総務係長 (市民生活部副部長兼生涯学習課長、文化ス ポーツ部スポーツ担当副部長、文化スポーツ部文化芸 術担当副部長、文化スポーツ総務課長、スポーツ振 興課長、スポーツアカデミー担当課長、スポーツ施設管 理課長、文化課長、学習文化課長、美術館・ 図書館長、芸術学校担当課長、福祉こども部 副部長、こども課長) ()は欠席者	書記・記録	田又係長代理
議 題 及 び 議 事 の 大 要			
会議録署名委員の 指名	倉 嶋 慶 秀 委 員		
	野 村 路 子 委 員		

事務局：

皆様こんにちは。本日は、令和4年教育委員会2月定例会となります。本日傍聴者はおりません。それでは教育長、進行をお願いいたします。

議長（教育長）：

令和4年2月太田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2、会議録署名委員は、倉嶋委員、野村委員をお願いいたします。

次に日程第3、教育長報告を申し上げます。

1月の成人式では教育委員さんをはじめ、青少年課や各課のご協力をいただき、大変ありがとうございました。無事に良い成人式ができたと思っています。

また、昨日の新聞にも載っていたのですが、市では改善活動実践例ということで、職員が担当業務の改善について提案を出しております。今回教育部では、部長の声掛けがあって30件以上が出されまして、素晴らしいという評価を受けました。教育総務課が今まで4つあった奨学金の申請書類をひとつに絞って学生の負担を軽減したということで、表彰されました。私も表彰式に参加させていただきましたが、素晴らしい実践だなと思いました。ぜひ今後もそれぞれの職場で業務を改善して行っていただけるとありがたいと思います。

最後に、まだまだオミクロン株の脅威が続いております。若干学級閉鎖の件数は減少してきておりますが、ピークアウトはまだ先かと思っております。まん延防止もまだ延長されそうですので、ぜひ各課の感染防止対策の徹底と健康管理について、声掛けをよろしくをお願いします。以上です。

続きまして、教育部長から報告をお願いします。

教育部長：

お世話になります。先ほどの教育長からのお話とも重なりますけれども、ちょうど1か月前の成人式では大変お忙しい中にもかかわらず、ご臨席いただきまして、誠にありがとうございました。コロナ禍ということで、だいぶ心配はしていたのですが、特に式に関連したコロナの感染等もなく、無事に新成人を祝うことができました。

また、学校では3学期が始まりまして、1か月が経過したところですが、新型コロナウイルスが今までにないほど猛威をふるっております。先週あたりから、新規陽性者がやや減っているかなという傾向はございますが、この1か月間多くの学校で学級閉鎖を行ったほか、小学校1校で臨時休校を行ったところでもあります。この2年間できる限りの感染予防対策を講じてきているものの、オミクロン株におきましては、もはや学校内での感染を完全に防ぐことは難しい状況になっております。引き続き、感染予防、感染拡大防止対策に努めるとともに、学級閉鎖や臨時休校の際にはGIGAスクール端末などを活用しまして、学習の保証に努めてまいりたいと思っております。

次に、ひとつご報告ですけれども、2月7日の朝、市立太田高校の生徒が自転車での登校時に信号機のない交差点で自動車と出合い頭に衝突するという事故が起こっ

てしまいました。顎の骨折や脳内の出血が見られるなど、重傷ということです。残念なのは、ヘルメットを着用していなかったということでもあります。自転車の乗車を含めた交通安全に対しては、学校の中でも指導してきたところではありますが、昨年4月からは群馬県において、自転車乗車時のヘルメットの着用を努力義務とする条例が施行されたことを受けまして、市立太田高校はもとより市内各学校で、そういった指導を改めて行ってまいりました。しかしながら、結果としては十分な認識がされなかったということでもありますので、今後の指導につきましても、学校とともに考えていかなければならないと思っていますところでもあります。私からの報告は以上です。本日もよろしくお願いいたします。

議長（教育長）：

ありがとうございました。

次に日程第4、事務報告に入ります。本日の案件は事務報告が3件で、協議事項はございません。

それでは、最初の報告事項「太田市学校給食調理等業務委託契約締結について」学校施設管理課主幹から報告願います。

学校施設管理課主幹：

「太田市学校給食調理等業務委託契約締結について」 【概要説明】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はございませんか。

倉嶋委員：

給食の関係で、契約とは少しずれるのですが、「食育」いわゆる食べ物に対する教育について、小中学校でどのようにされているか教えていただきたいと思います。

学校施設管理課主幹：

食育につきましては、ひとつは給食の時間中に栄養士が教室を訪問してその日の献立等の説明をするといった活動を行っております。もうひとつは、担任の教諭や教科担任がチームを組んで栄養士が授業を行うといったことをしています。特に栄養士のなかでも栄養教諭につきましては、年間の授業時数の目標が決められておりまして、それをクリアするように努力しております。

倉嶋委員：

献立とか、日々食べている物の見直しとか、アンケートとか、保護者からの意見等は集約していますか。

学校施設管理課主幹：

特に保護者へのアンケートというのは行っておりません。

倉嶋委員：

季節に応じた給食を出していただいていることは理解しているのですが、子どもたちへのアンケートはもちろんです、ぜひ家庭とも連携し、食育また日々の給食に対しての意見を募っていただけるような機会もあると、非常にありがたいと思います。

学校施設管理課主幹：

食育につきましては、学校での食育ももちろん重要なのですが、一日のうち2食は家庭での食事になりますので、保護者とのやり取りも非常に重要だという認識を持っております。検討させていただきたいと思います。

倉嶋委員：

ありがとうございました。

野村委員：

委託の前は自校給食だった学校というのはあるのでしょうか。

学校施設管理課主幹：

今回契約となったのが、学校給食センターが学校数で言うと6校、単独校で6校です。今回の契約のほかに、もう1契約ありまして、3校単独校で委託をしております。市内には給食をやっている学校が40校ありまして、うち15校は民間委託、残りの25校は市費の調理員による給食となります。委託の経緯につきましては、もともと合併前の尾島町が学校給食センターでやっております、そこの委託から始まって、尾島の給食センターが自校方式に変更になった後も、尾島小・世良田小・尾島中につきましては調理の民間委託になりました。その後、新田の給食センター、単独校の方が少しずつ増えていったという経緯があります。

野村委員：

ありがとうございました。民間に委託した方が、やはりコストは下げられるということなののでしょうか。

学校施設管理課主幹：

コストについては、なかなか難しい部分があるのですが、実際に直営、いわゆる市費の調理現場におきましては、正規の調理員がほとんどいない状況で、会計年度任用職員がほとんどとなります。民間の場合は正規の社員も入っておりますので、賃金については、単純に比較してしまいますと現状は民間委託の方が高いということになります。ただ、市費の場合は、直接調理員の給料だけでなく、そこに関わって

る、例えば事務局の内部の職員の賃金等も本来は計算しなければならない。なかなかその辺が難しいものですから、何とも言えないようなところもあるかと思えます。

野村委員：

分かりました。ありがとうございます。

佐藤委員：

(6) の契約金額のところ、①②それぞれが令和4年、5年、6年度と、①は約90万円ずつ、②は200万円弱ずつ毎年金額が増えています。これは、例えば同じようなプログラム、同じような（児童生徒の）人数、あるいは人数が減っていく中で給食の運営をしていくわけですが、年度ごとに予算が増えていくというのは、どういった理由でしょうか。

学校施設管理課主幹：

今回の契約の請負者については、年度ごとに社員の昇給、またパートの調理員につきましては時給単価の上乗せを考えているので、このように年度ごとに金額が上がっております。

佐藤委員：

そうしますと、今までも同じような契約がおそらくあったと思うのですが、今までの契約に対する報告書で、実際に企業が報告の義務があるのかどうか疑問ですが、その中で昇給ですとか人件費によって、実際に経費が掛かったのか、このような増額がされているという根拠となるような資料があるのでしょうか。

学校施設管理課主幹：

こちらに示してあるのが、プロポーザルの時に提案がございました計画の数字なのですが、実際に人件費としていくら払ったかという報告までは求めておりません。

佐藤委員：

分かりました。ありがとうございます。

議長（教育長）：

他にございますか。意見等が無いようですので、次の報告事項「令和4年太田市成人式実施結果について」、青少年課長、報告願います。

青少年課長：

「令和4年太田市成人式実施結果について」 【概要説明】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はございませんか。

倉嶋委員：

ユーチューブライブの閲覧数を教えてください。

青少年課長：

リアルタイムと変わってくるのですが、各部とも50人から60人前後を推移しておりました。アクセスできる方が新成人に限られておりましたので、このぐらゐの数字になったのかと思います。

倉嶋委員：

ありがとうございます。効果があったのは非常にありがたいことだと思います。(記念品として配布予定の)DVDも記録としては非常に大事だと思うのですが、リアルに見られる、リアルと一緒に参加するというのは一生に一回のことです。来年以降、(新型コロナが)どういう状況になるか分からないですが、ぜひ来年以降も考えていただけたらと思います。

議長(教育長)：

ありがとうございました。他にございますか。

池田委員：

感想なのですが、第1部の「20歳の主張」の発表をした方が非常に良かったと思います。

議長(教育長)：

何も見ないで発表した方ですね。

池田委員：

そうです。非常に素晴らしかったと思います。

議長(教育長)：

ありがとうございました。

他によろしいですか。ご意見等が無いようですので、次の報告事項「令和4年度太田市立太田中学校入学者選抜における合格者状況について」、学校教育課長、報告願います。

学校教育課長：

「令和4年度太田市立太田中学校入学者選抜における合格者状況について」

【概要報告】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はございませんか。

池田委員：

女子と男子とで合格ラインの点差はどのくらいあるのですか。

学校教育課長：

やはり女子の方が若干高いという結果がございました。

池田委員：

やっぱり格差が出てくるのではないかと思うのですよね。今の社会の流れからすると、ちょっと流れとは違うのではないかというふうなことを感じるのですけれど、いかがなものでしょうか。

学校教育課長：

まず、男女51名ずつということで、一番平等な形にさせていただいたというのがひとつです。もうひとつですが、4月の入学後に学力検査を行っております。その学力検査を行うと、男子生徒の方が全ての教科において、全体の平均もそうなのですが、かなり女子より上回っております。

この（入学者選抜の）検査というのは、調査書、適性検査、作文検査、そして面接検査で、そのうちの4割が調査書であります。調査書は小学校5・6年の結果というわけなのですが、小学校高学年の時に女子の方が授業態度が良かったり、提出物が良かったりということがあって、男子より評価が上なのですね。そうすると、この受検段階におきましては、女子がかなり有利であるということで、当然全体的な点数は、委員ご指摘のとおり女子の方が男子を上回っているということになります。

ただ、ふたを開けて4月になって学力検査をすると、男子の学力の平均の方が上回る、そういう結果も、実は毎年追跡調査をしておるのですけれども、出ております。ですからやはり、男女の同一の定員というのは、ひとつの方向性としては間違っていないのではないかと、ということで認識しております。

池田委員：

そうするとですね、どういう試験の内容だということを、受検する方々にある程度オープンにしなければいけないと思うのですよね。

学校教育課長：

「太田市立太田中学校入学者選抜実施要項」というのを毎年作成しております。その選抜実施要項の中に可否の判定の材料、比率について「調査書が4割、適性検査が2割、作文検査が2割、面接検査が2割」ということが明記されております。つまり

小学校の調査書が10割中4割ということで、一番重視されているということは明記しております。併せて「入学者選抜説明会」というのを毎年開いております、そこでもそのことをもう少し詳しく説明させていただいております。以上です。

池田委員：

そうしますと調査書についてですね、先生方の主観になってしまうわけですね。そのところはどうなりますか。

学校教育課長：

教職員は、子どもの評価に対して学習指導要領をもとに評価を行っております。学校ごとに、文科省の示された資質能力ですね、それをもとにした適正な評価を行っております。また併せて、太田中に限らず県立中央中等教育学校、四ツ葉学園中等教育学校、または他の私立の中学校の受検もございます。他の学校でも主に5・6年生の成績が調査書として受検の際に使用されるということを認識しております。もう10年以上、太田中が開校して11年目ですので、そういうことが地域に周知されている、認識されているということから、特に5・6年生の担任というのは、そういうところではばらつきがないように努力をしている、というところだと考えております。

池田委員：

最終的に市立太田高校に進学するときに、選抜をやらないですね。太田中からそのまま持ち上がりですから。もう少し中高一貫ですから、そのところをどのようにするのかという、努力目標を考えていただければありがたいと思うのですよね。子どもにとっては6年間テストがないわけですから、一生を決めかねない問題となりますので、よろしくお願いいたします。

学校教育課長：

承知しました。努力させていただきます。そこに関して少しご説明をいたしますと、高校の方で、(令和5年度から)普通科の募集を行わないということになります。現時点で普通科の募集を行っておるところなのですが、やはり両面ございまして、当初の目的としましては、外部進学者を入れることによって、活性化が図られるということがございます。刺激を受けて切磋琢磨して伸びていくと、そういうこともございました。課題としては、太田中で3年間やっていきますと、かなり授業時数も違う、そして3年間で友達関係もかなり深まってくる、国数英については高校の先取りもやっているということで、高校から進学した生徒がかなりの負担を持たなければならない状態というのもあったということもあります。これで、普通科の募集をしなくなることで、そのまま持ち上がりになるわけですがけれども、委員がご指摘いただいたように、さらに中高一貫教育を特化して、6年間でしっかりと、さらにそういうところの良さを伸ばしていけたらと考えております。ご助言ありがとうございます。

池田委員：

ありがとうございます。

議長（教育長）：

他にありますか。

佐藤委員：

(2)の太田市外からの受検者で、女子が非常に多くなっています。女子が35名、男子が16名ということで、2倍以上の差があるわけですが、この女子が市外から志願する要因と言いますか、バックグラウンドというのは何でしょうか。

学校教育課長：

アンケート調査等をしておりませんので、あくまで私見ということになりますけれども、小学校の先生方と情報交換等を我々はしております。そういったところからの情報で、やはり男女の考え方の違いというのも少しあるというふうに思っております。どうということかと言いますと、かなり適性検査等が難しいわけですが、男児の方が、適正検査や作文検査などの受検に対して抵抗感がある。つまり小学校6年生段階で勉強をして受検をするということに、男児の方が少し抵抗感があるということです。現場の先生方とやりとりをする中で、そういう傾向があるということはお聞きしております。以上です。

佐藤委員：

例えば中学校で行われている女子の部活動であるとかクラブ活動等で、全国大会に行っているようなチームがあって、そういうものに入りたいから志願している、そういうような誘因があるから女子の比率が高いというようなことではないのですか。

学校教育課長：

スポーツに関しましては、高校生と一緒に活動できる機会がある部活動も中にはあります。ひとつは、太田中は今、駅伝が男女ともに強い。ですから、太田中で駅伝をやってみたいということで、志願したという児童もおりました。これは「志願理由書」というものから情報を得ております。また、空手は中学校にはないのですが、高校生と一緒に部活動を行っております。他にも硬式テニス、バドミントン、バスケットボール等については、間近で高校生の高いレベル、高い意識の活動を見ながら活動ができる、ということも説明会等で周知をしております。やってみたいと思って入学してくる児童はいると思います。

佐藤委員：

そういう活動において男女差はないですか。男女ほとんど同じくらいでしょうか。つまり、高校であるとか中学校であるとかの部活なのかもしれませんし、例えば吹奏

楽であるとか文化部の活動もあるかと思うのですけれど、そういう学業以外のコンテンツで、女子の方が全国とか関東とかでうまくいっているとか、そういう傾向があるというわけではないですか。

学校教育課長：

全体的な傾向としましては、年々変わっていくものですし、詳細について私も現在つかんでいないところもございます。ただ委員がご指摘のとおり、吹奏楽部というのは、やはり女子が多くて、太田中の吹奏楽部でやってみたいという女子児童は多いというのは、明らかにございます。

佐藤委員：

その可能性があるという段に過ぎないと思いますけれども、市外からでも受けたいという強い意志があるから市外から受けている可能性があって、それがもしかして中学校・高校の魅力的なコンテンツなのかもしれないと考えられると思います。それに比べて男子については、中学・高校においてももしかすると補強を実施しなければいけない部分があるのかもしれないというような、そんな可能性を感じます。市立中高一貫校ということで特化がしやすいと思うので、もしそれが充実できて、さらに男子の方の志願者数が伸びていけば、非常に有意義かなと思ひまして、質問させていただきました。

議長（教育長）：

ありがとうございます。参考にしてみてください。

他にご意見等がありますか。ないようですので、以上で事務報告を終了します。事務局から連絡はありますか。

事務局：

事務局から次回の定例会について、連絡申し上げます。教育委員会令和4年3月定例会を、3月16日水曜日午後2時から、尾島庁舎教育委員会室で開催予定です。よろしくお願ひいたします。以上です。

議長（教育長）：

以上をもちまして、本日の議事を全て終了し、2月定例会を閉会いたします。ありがとうございます。